

第7回日本災害医療ロジスティクス研修

チーム事務長 活動報告

令和元年10月23日～24日

メンバー紹介

高麗

坂本

石川

佐藤

南

小澤

浅川



前日の活動指示内容

- 活動場所: 大槌町役場
- 活動目的: 大槌町における保健医療調整本部の立ち上げ



大槌町役場に到着 11:30

- 現地の状況:

津波による沿岸部中心に甚大な被害あり。

ライフラインは電気、水道、ガス、通信すべて使用不可。

町内避難所は14か所。避難所内の情報は把握できていない。

大槌高校避難所が特に混雑しており、支援が必要。

医療チームの支援は今回が初めて。

→ Eグループが役場に残り本部立ち上げ。

チーム事務長が大槌高校避難所の支援に向かう。

大槌高校避難所到着 12:10

- 大槌高校避難所管理者からの聴取内容
ライフライン、通信すべて使用不可
避難所内900名以上の避難者あり。
高校内の職員のみで対応。
数名の体調不良者及び負傷者あり→養護の先生にて対応。
現地のニーズ

ヒト、モノ、カネが足りない！！



POSTER: 112-2011
KURSE FÜR ERSTHILFE
LEBENSERHALUNG

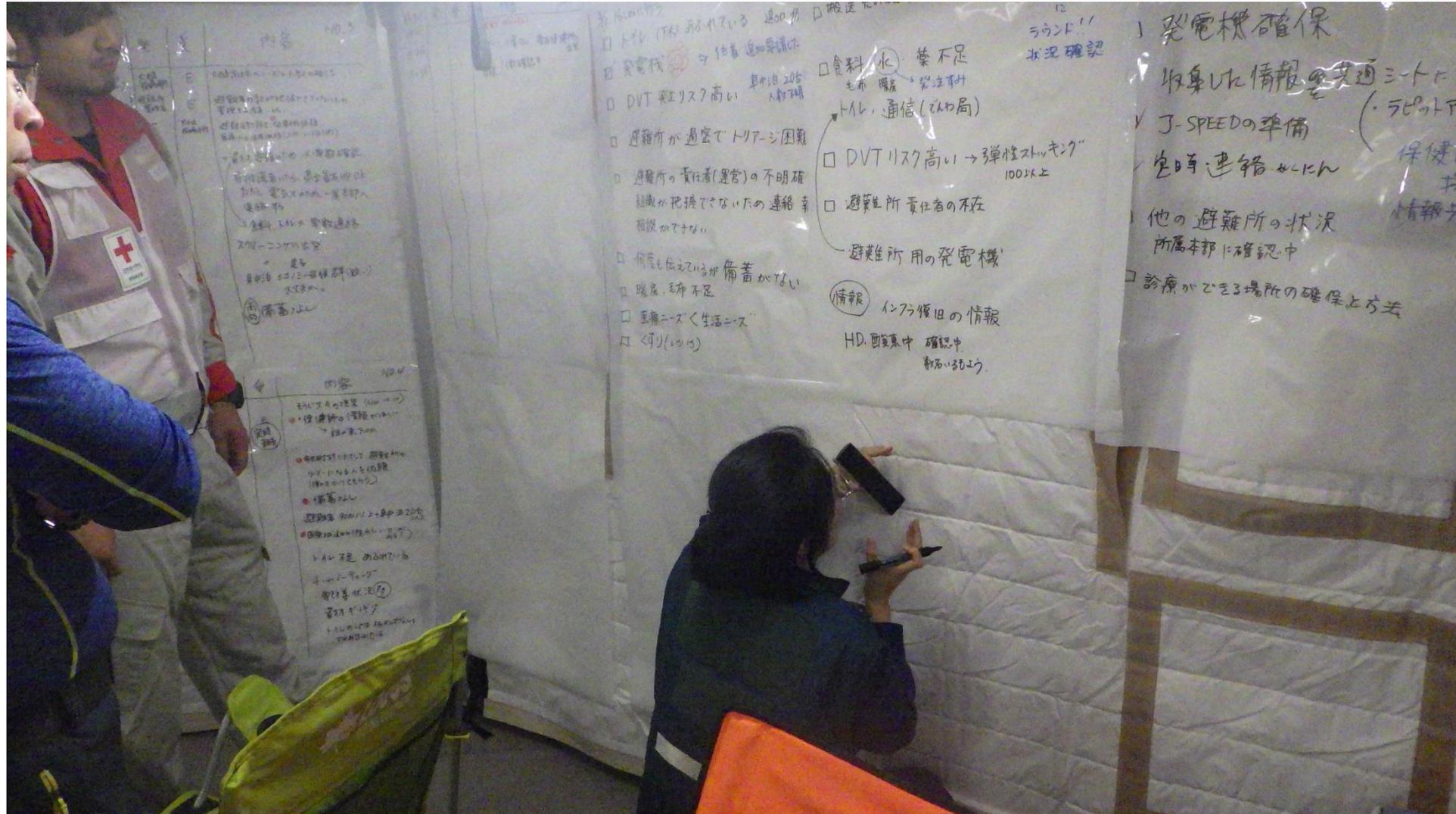
POSTER: Airstretcher
AIRSTRETCHER
EINZELNE TEILE
EINBAUANLEITUNG

POSTER: Airstretcher
AIRSTRETCHER
EINZELNE TEILE
EINBAUANLEITUNG

避難所アセスメント

- 避難者数 900名以上
- 車中泊者あり。20台以上（夜間はさらに増える）
- 運営者不在。
- 炊き出しあるが、トイレと近く不衛生状態。
- ライフラインはすべて使用不可のため、食料等の物資不足。
- 重症傷病者は今のところいなさそうだが、静脈血栓症等の対策が必要。
- 透析患者、酸素が必要な避難者が各2名程度いる。

大槌町役場保健医療調整本部への情報共有



就寝後0時10分 女性の悲鳴が、、、?!

- 発電機の音を超えた悲鳴が聞こえた



感想

- 1泊2日の研修だったが、限られた資材や時間の中で最善の活動をする事の難しさを感じた。
- 経験をしないと得られない多くの学びを得ることができた。
- 初めての人同士の研修だったが、協力して活動することでコミュニケーション能力を高めることができた。
- ロジとしての力量を研修で大変勉強になりました。
- 今日の経験は明日に生きる。
- 充実した研修で大変勉強になりました。

